

手掛ける大洋(本社)を
総合解体工事などを

大洋 リサイクル工場新設 難処理対応ニーズ捕捉

茨城県水戸市、星文佳
社長)は、新たに金属
リサイクル事業部門を
発足、同県神栖市にリ
サイクル工場を新設し
た。5月から営業を開

始。ラバンティによる
処理困難物対応など顧
客ニーズを確実にとら
え、7月までの取扱
量は月間2000トンペ
ース。関東一円に展開



ラバンティによる大型機械処理

し、将来的には月間3500トンの扱いを目指したい意向だ。

1500坪のリサイクル工場には、コマツのPC450LC-8ダイナシャー(ラバンティ)、日立建機のZX300LC-3マグネット仕様、ZX240LC-3旋回式フォークリフトラバンティによる大型機械処理

クグラブといつた重機、60ントラックスケールなどを設備。ガス材、鋳物機械スクラップ、ステンレス解体スクラップ、耐熱鋼などを扱う。

ギロチンシャーでの処理が難しい大型機械廃棄物のようなガス材にも、ラバンティによ

る。現在は鉄物系、ステンレス系の扱いも多いが、鉄スクラップの扱いを伸ばしていく

たいという。

ボニー工業の携帯用多目的サーベイメータ(放射線測定器)や、ハンドヘルド型蛍光X線分析計DELTAシリースの金属分析器も備えて、品質管理にも注力する。同業他社で扱いにくい処理困難物にもラバンティで対応し、選別精度を向上することを付加価値を高めていく。